

郷土館発 南と北を結ぶⅡ

今回は、昭和十八年以降のバス路線の様子を紹介いたします。

昭和十八年

○国策により東三自動車運輸は、豊橋乗合自動車に統合

昭和十九年

○三河田口駅～田口町 ガソリン不足のため運行休止

昭和二十四年

○三河田口駅～田口町 バス路線再開。(田口鉄道の)自動車運輸事業は名古屋鉄道に依存した。

○田口～稲武 一日三往復

昭和二十五年

○田口～新城 乗合自動車の営業開始

○田口～新野線再開

昭和二十六年

○田口町～根羽 豊橋交通が一日一往復運行開始
○薪炭利用代燃車が、石油燃料に転換

七 一 五	八 八 〇	八 一 〇	八 一 〇	八 一 〇	九 一 〇	〇 〇 〇	〇 〇 〇	二 四 〇
田口駅	本郷	新野	根羽	本郷	田口	根羽	田口	田口駅
三 二 〇	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇	三 三 〇
田口駅	新野	根羽	本郷	田口	根羽	田口	根羽	田口駅

昭和二十九年

○豊橋交通が豊橋鉄道となる。
田口営業所(車庫)認可

昭和三十年

○豊鉄バス 大野町～本郷 路線延長

昭和三十一年

○田口鉄道が豊橋鉄道に合併
○太和が根トンネル開通

○県道津具津川線開通

○豊鉄バス 夏季豊橋駅前～茶臼山 直通バス運行

○田口～佐久間 一日五往復運行開始

昭和三十三年

○田口～大名倉・長江小林・豊邦・守義 運行開始

○名倉大桑～名古屋駅前 一往復増便。所要時間、三時間五十九分

○名鉄バス 田口～稲武 五往復

昭和三十五年

○名鉄バス 宇連に定期バス開通

昭和三十九年

○坂宇場～粟世 バス路線延長
○豊鉄バス 田口駅前～名倉澄川 営業開始

○田峯駅～裏谷高原 季節臨時運転実施

昭和四十二年

○豊鉄バス 新野への運行休止
○段戸トンネル開通

昭和四十三年

○田口鉄道廃線

昭和四十四年

○稲目トンネルバス専用道路開通。田口営業所新築

昭和四十五年

○石堂～牧野口 バス路線延長
○小林線 柴石～大平 廃止

昭和四十六年

○東栄営業所新築
○豊橋～田口 ワンマン化

昭和四十七年

○田口～東栄 ワンマン化

昭和四十八年

○設楽大橋架橋

昭和四十九年

○牧野口～牧ノ島 路線延長
○稲目トンネル開通

昭和五十年

○豊根 石堂～本郷・石堂～下津具間の路線を除いて豊鉄バスの運行中止

○粟代～小林 廃止

昭和六十一年

○清崎バイパス開通

昭和六十二年

○石堂～下津具 運行休止
○大名倉宇連線・長江線廃止

○浦川線廃止

平成二年

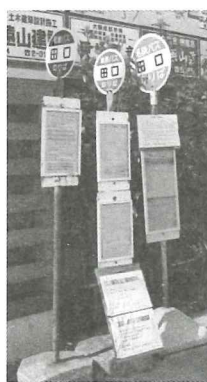
○三都橋線廃止
○御園線廃止

平成六年

○豊根線(本郷～石堂)廃止
平成十一年

平成十三年

○名鉄バス 田口～稲武線廃止
○田口～本郷線・本郷～東栄線 廃止



昭和三十年代から北設楽郡のバス路線が延びて行き、観光という要素も見受けられるようになりました。

(奥三河郷土館長 渡邊 俊也)

※資料名は、紙面の都合上省略しました。